



ヒメタイコワチ

カワセミ

多治見市文化財保護センター企画展

こ けい ざん

虎溪山の

し ぜん れき し

自然と歴史



シデコブシ



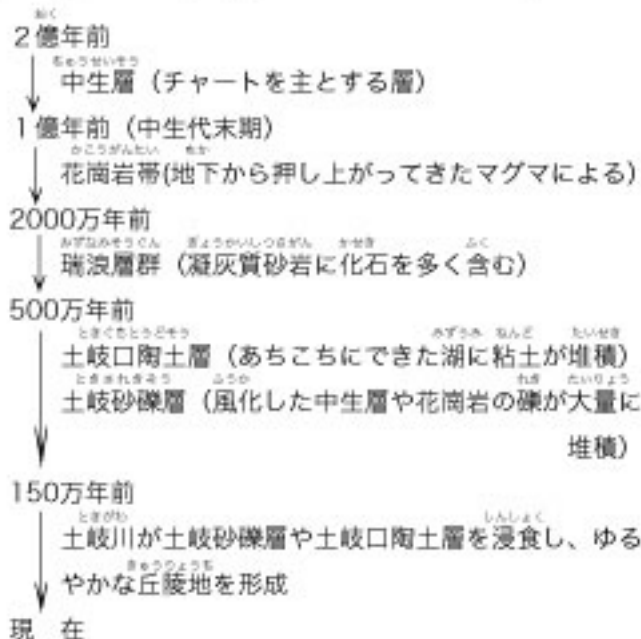
虎溪山1号古墳出土須恵器（6世紀）

はじめに

鎌倉時代の終わり頃の正和2年（1313）、夢窓国師（夢窓疎石）という僧が、仏徳禅師らとともに虎溪山へ立ち寄りました。国師は、ここは静かに修行をするには絶好の場所であると庵を建て、「古路」と名付けました。それが永保寺の始まりです。永保寺の山号・虎溪山は、「古路」に由来します。それまでは、この一帯は長瀬山と呼ばれていましたが、やがて永保寺だけでなくその周辺の山を含めた一帯が虎溪山と呼ばれるようになりました。

今では、虎溪山というと誰もが永保寺を思い浮かべますが、永保寺が開かれる前からの長い歴史があります。また、虎溪山には豊かな自然が残り、珍しい植物や昆虫がいます。虎溪山の長い歴史と豊かな自然について、くわしく見てみましょう。

1. 多治見及び虎溪山の地層形成過程



虎溪山は、陶土層や砂礫層が浸食され形成された丘陵地です。永保寺庭園内、観音堂西にある「梵音巖」といわれる岩山は、中生層のチャート岩石が露出しています。また、陶土層や砂礫層から産出される本節粘土は、白瓷（灰釉陶器）や山茶碗などの陶器の原料となりました。

2, 虎溪山の植物

虎溪山は、せまい地域の中にたくさんの種類の植物が見られ、珍しいものも多くあります。なぜ種類が豊富なのでしょうか。それは、せまい地域ながら、変化に富んだ植物の生育場所があるからです。

たとえば、

①虎溪山自然林・・・土岐川に面した崖が人を寄せ付けず、市街地の近くにもかかわらず自然の植生が残りました。70種余りの植物が生い茂る自然林は、多治見市の天然記念物になっています。

②湿地帯・・・1年中じめじめとしたところで、シデコブシやモウセンゴケなど湿地を好む植物が見られます。この湿地のシデコブシ群生地は多治見市の天然記念物になっています。

③永保寺のまわりや虎溪公園・・・古くから人の力で整えられてきた場所です。鎌倉時代に夢窓国師が開いた永保寺の庭園は、国の名勝です。イチヨウやマツ、カエデなどが植えられています。

①～③のように、虎溪山という地域の中でも、植物にとって様々な生育環境があり、その環境に応じたたくさんの植物が生育しています。



シデコブシ

モクレン科

愛知・岐阜・三重県だけに自生する植物で、4月上旬に白色またはうすい紅色の花を咲かせます。花弁は9～18弁、多いものでは40弁ということもあります。虎溪山の湿地帯では820株が確認されています。シデコブシは多治見市の木です。

3, 虎溪山の生きもの(鳥と昆虫)

虎溪山はたくさんの種類の植物が見られます。いろいろな植物が見られるということは、いろいろな昆虫が住みついているということで、その昆虫をえさにする野鳥もたくさんやってきます。また、湿地帯には、じめじめしたところを好む植物や虫などがすんでいます。

カワセミ

ぜんちょう
全長 17 cm



1年を通し見られる鳥です。体の下面はオレンジ色、上面には光沢のある青色があり、下くちばしが黒いのがオスで、赤いのがメスです。永保寺の臥龍池で魚やエビをとって食べる様子が見られます。

オシドリ

全長 45 cm



カモの仲間、冬になると信州方面から土岐川へもやってきます。オスはオレンジ色の羽がありますが、メスは地味な茶色です。これは、子育てをするときに外敵から身を守るためです。ドングリなどの木の実を食べ、木のほら穴などに巣をかけます。

ヒメタイコウチ

全長 2 cm



関西の一部と東海地方の低湿地にだけすむ昆虫です。ため池や水田にすむタイコウチに比べ小型でずんぐりした姿勢をしています。また、後羽根が退化して、まったく飛ぶことができません。

虎溪山の歴史

4, 旧石器時代・縄文時代の虎溪山



虎溪山の湿地帯やその北西にある虎溪山遺跡からは、旧石器時代や縄文時代の石器が出土しています。湿地帯では、地下水が湧き出て流れをつくっています。そこに、きれいな水や食料となる動植物を求めて、1万2千年以上前から人がいたことが、出土した石器からわかります。虎溪山遺跡（虎溪山町3丁目）の発掘調査では、旧石器時代～縄文時代の石器数十点が出土しました。出土した石器の種類から、少なくとも旧石器時代末から縄文時代初め頃には、虎溪山で人々が生活していたと考えられます。



有舌尖頭器
投槍の槍先。狩猟に使われます。旧石器時代末～縄文時代初期に使われました。



横型石匙
動物の皮剥ぎ、またはナイフとして使われたと考えられます。



石鏃
弓矢の矢の先端（矢じり）。縄文時代になって出現します。

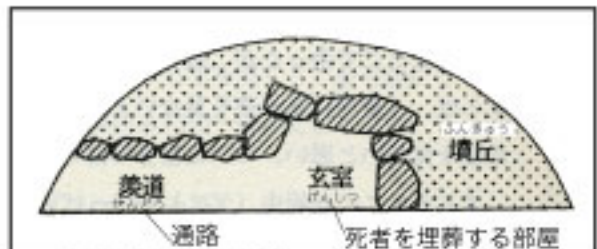
5, 古墳時代の虎溪山

古墳時代とは？
土地の権力者の墓である古墳が造られた3世紀末から7世紀後半に至る約400年間を古墳時代といいます。前期（3・4世紀代）・中期（5世紀代）・後期（6～7世紀）の3つに時代区分され、中期に古墳は最も巨大化し、畿内地方を中心に大王や豪族の墓として、前方後円墳などが造られます。後期になると、横穴式石室をもつ小さな古墳が日本各地に造られるようになり、古墳は集落の有力者など下の階層にまで広がりました。虎溪山古墳群を始めとする多治見の古墳群は、後期に属します。

虎溪山1号古墳

虎溪山1号古墳は直径約16mの円墳です。墳丘には二段の段が造られ、裾は石で囲われています。石で積んだ古墳を、積石塚古墳といい、この1号墳の他に、湿地帯に築造されている4号古墳（金鶏塚ともよばれる）もそうです。このような古墳は岐阜県では例が少なく、朝鮮半島に似た塚が多く分布していることから、渡来人の墓との説もあります。

1号古墳の内部主体（埋葬施設）は、肩袖式の横穴式石室で、石室の全長は9.3mです。また、古墳の副葬品として、須恵器、土師器、金銅装馬具、鉄製武器、玉類などが出土しました。須恵器の年代等から、1号墳は6世紀前半代に築造され、その後、6世紀の間に数回にわたって、何人かが埋葬されたと考えられます。



▲横穴式石室の模式図
横穴式石室は、墳丘の上から穴を掘って造られる埋葬施設です。これに対して、横穴式石室は、墳丘の横に入り口をつくる埋葬施設です。竪穴系横口式石室は、この竪穴式と横穴式の中間的な構造です。

※1. 近年では竪穴系横口式石室との見方もあります。

6, 虎溪山の古窯跡

虎溪山古窯跡群では、これまでに6基の窯跡の発掘調査が行われ、10世紀後半から11世紀末（平安時代の終わり頃）に、白瓷（灰釉陶器）や山茶碗という陶器が焼かれていたことがわかりました。昭和44年（1969）の虎溪山1号古窯跡の発掘調査は、美濃窯で初めて行われた本格的な発掘調査でした。

白瓷（灰釉陶器）



山茶碗



灰を主成分にした釉薬をかけ焼成された陶器。奈良時代後期から平安時代にかけて作られました。

東海地方で焼かれた無釉の陶器。賦食が日常に使用した茶碗です。平安時代末から室町時代にかけて作られました。

7-2, 永保寺の火災と発掘調査

平成15年9月10日夜、永保寺本堂や庫裡など約900㎡を全焼する火災が発生しました。この火災で、本堂に安置されていた本尊・釈迦如来坐像及脇侍文殊普賢菩薩（多治見市指定文化財）が焼失しました。

火災後、本堂・庫裡の再建が行われることとなり、それに先立って、平成16年9～12月に庫裡跡の発掘調査が行われました。発掘調査では、戦国時代（16世紀）～明治時代にかけての遺構が検出されました。出土遺物は、寺の生活用具と思われる陶磁器類が中心で、時期はもっとも古いものでは9世紀後半頃、中世から現代にまでわたります。「虎溪僧堂」と染付銘が入った明治時代の磁器などが出土しました。

7-1, 虎溪山永保寺



永保寺観音堂

永保寺は臨済宗南禅寺派の寺院であり、夢窓国師（夢窓疎石）を開祖、仏徳禅師を開山とします。

永保寺は、正和2年（1313）、夢窓国師によって開かれました。作庭家としても知られる夢窓国師は、虎溪山に滞在した4年の間に、観音堂建立の他、自然の地形や景観を生かした庭園を造り上げました。現在では、観音堂は国宝、庭園は国の名勝です。

観音堂とともに国宝に指定されている開山堂は、文和元年（1352）、夢窓国師に帰依した足利尊氏によって建立されたと伝えられますが、実際は、もう少し後の14世紀後半から15世紀初頭の建立ともいわれます。そのほか、永保寺所蔵の多くの書や絵画・仏像が県や市の文化財に指定されています。

「正中二年十二月」銘入り山茶碗が出土

製作年代を直接記した山茶碗の出土例はととも少なく、この「正中二年十二月」銘の山茶碗・鉢は、全国で4例目の発見です。

この山茶碗は、多治見の在地領主の一人が永保寺に奉納したのではないかと考えられ、他に奉納した人物名や奉納先である永保寺の文字が刻まれていた可能性もあります。

ちなみに、正中2年という年は、関東にいた夢窓国師が後醍醐天皇の南禅寺住職への招請を受け、上洛途中の8月に永保寺に立ち寄った年です。



多治見市文化財保護センター企画展

「虎溪山の自然と歴史」

展示期間：平成19年7月2日（月）～12月28日（金）

開館時間：午前9時～午後5時 休館日：土・日・祝日 入場無料

発行 多治見市教育委員会・文化財保護センター

〒507-0071 岐阜県多治見市旭ヶ丘 10-6-26

TEL(0572) 25-8633 FAX(0572)24-5033

URL <http://www.city.tajimi.gifu.jp/bunkazai/>